

編 集 後 記

埼玉県環境科学国際センター報は、県民並びに関係諸機関に当センターの活動を紹介するための情報源としてだけでなく、環境情報の収集・発信のための媒体としての役割がある。センターは平成12年4月に活動を開始して以来、平成26年度で15周年を迎えた。そこで、本報(第15号)は、平成26年度の活動を記録するだけでなく、センター開所当初から15年間の活動状況等もとりまとめた特集号として発刊した。

開所以来、当センターの四つの基本的機能である、環境学習、試験研究、国際貢献、環境情報の収集・発信を積極的に推進し、環境分野で多くの成果をあげるとともに、環境保護に尽力する人材の育成等に努めてきた。環境学習面では、彩の国環境大学を継続して開講し、環境科学に関する知識を持った専門的な人材を多数育成してきた。また、展示施設を運用し、各種の公開講座を開催することにより、子供たちの環境へ関心を高めるような取り組みを行ってきた。試験研究面では、埼玉県が直面する環境問題の解決を意識しながら取り組み、得られた研究成果を学会等で発表するとともに、センターのニュースレターやホームページ、講演会等を通して広く社会に発信してきた。これらの研究成果の中には、アジア圏の国々を始めとする海外の環境保全活動にも積極的に活用されてきた。これらセンターの実績は多方面に大きく貢献してきたものと自負している。

今後、センターは、今までに培ってきた経験や知識を基に、緊急を要する環境問題にも迅速かつ的確に対処するとともに、埼玉県や県内自治体の行政各部署および研究機関との連携を一層深めることにより、環境保全研究の更なる発展を図っていきたい。そして、県民の皆様の安心・安全を求める声に応えるべく、地域に根ざした地道な活動に全力で取り組む所存である。

本報は、印刷原稿の作成までをセンター全職員の参加により行ったものであるが、編集方針・内容の決定、具体的作業に当たっては、下記の編集委員会がその任を負った。

平成27年9月

編 集 委 員 一 同

〈 編 集 委 員 会 〉

細野繁雄(研究推進室長)	山田 勇(事務局)
山田佳子(研究企画室)	高橋基之(研究推進室)
倉田泰人(研究推進室)	白石英孝(研究推進室)
嶋田知英(温暖化対策担当)	茂木 守(化学物質担当)
田中仁志(水環境担当)	